

## **3. 2. 調査（第二段階）**

### **I. プレースメントテスト**

第二段階の調査は、実際に学習者が来日してからクラス分けを行うためのプレースメントテストのことを指す。

まず、WEB アンケートをもとに大まかにクラス分けを行った。アルティアセントラルは7月11日に行い、AETは2グループに分かれて来日することになっていたため、全員がそろった研修日（8月5日）に、教育館で行った。AETへのインタビューは、実習生全員がクラスごとに分かれ、異なるクラスの担当者が一緒に一人の学習者をインタビューした。（A、A&B、B&C、C&Dの4つに分かれ、ボーダーを見極められるよう試みた。）インタビュー内容、クラス判断基準はあらかじめメーリングリストで流し情報を共有しておいた。

このプレースメントテストは、学習者のニーズを直接聞くことができたり、学習歴がほとんどないと答えた人の中にも個人的に少し勉強している人がいることがわかったりなど、学習者を知るという意味では極めて有意義な機会となった。

各クラスのインタビューの内容、方法、判断基準などは以下の通りである。（メーリングリストの記述をまとめたものである。）

### **A クラス**

#### ①文字（ひらがな・カタカナ）

1. 五十音表を使って、ランダムに指した字を読んでもらう。
2. 文字のフラッシュカードを使用して、書いてある字を読んでもらう。

#### ②会話

1. 自己紹介：名前、出身、趣味、休日の過ごし方等
2. 日本：日本、日本の食べ物についての感想
3. 食事に誘う：都合、何が食べたいか等

まず、自己紹介がどのくらいできるのかをみる。YES/NOで答えられる質問だけでは、実際の理解の程度が曖昧になってしまうので、オープンクエスチョンを織り交ぜながら、自然な会話で進めていく。文字がまだ不十分なことと、先のようなトピックを使って、ゼロ初級段階での会話の理解と発話がどのくらいのレベルなのかということを見ていく。

### **B クラス**

#### ①初級文型項目

インタビューシートの質問は順に難易度を高くした。AとBの方では、前半の項目を丁寧に聞いていき、そこから会話に発展させていく。CとDの方では、後半の項目を中心に聞いていく。前半はできると仮定し、テンポよく進める。

(一部抜粋)

**B クラス 口頭 PT インタビューシート 1**

- 1) お名前は何ですか。
- 2) 日本語はどうですか。{難しいですか。/やさしいですか。}
- 3) (ボールペンを見せて) これは何ですか。
- 4) これはあなたのですか。
- 5) ~さんの国は今、{暑いですか。/寒いですか。}
- 6) {スポーツ/音楽} が好きですか。

はい→どんな {スポーツ/音楽} が一番好きですか。

いいえ→~さんは何が好きですか。

○ : 答えが言える    △ : 簡単な言葉での言い直し、説明、英語使用で答えが言える

× : 答えが言えない    E : 英語使用

②文字

ひらがなが読めるかチェックする。すらすら読めたら「ひらがなができる」とし、Bクラス以上と判断する。(Bクラスの授業では「書く」を重視しないので、ここでは読むことだけチェックする。)

**B クラス 口頭 PT インタビューシート 2**

Please read 4 sentences.

タモリさんは ABC の べんごしです。

ことしの 6 がつに ひとりで にほんに きました。

Tamori-san no kaisha wa Nagoya Eki no chikaku ni arimasu.

Shigoto wa getsu-yobi kara kin-yobi made desu.

以上 2 種類の方法で、初級の文法をどの程度理解しているか、会話を発展させられる力(文法レベル、性格も含めて総合的に)、文字知識があるかを測る。基本的に、ゼロレベルではない人、かつ、Cクラスではないと判断された人、またひらがなが読める人を B クラスの対象とする。

**C クラス**

①学習者のレベル判断

「初級文法」をどの段階まで、概念として持っているかをチェックする。インタビューでは以下の 4 項目を確認する。

1. 日本語学習歴 (何年/何ヶ月)
2. どこで、学習したか (独学か、しっかりとした学校・機関か、プライベートか)
3. 教科書は何を使ったか

4. 教科書（通常初級は2冊）のどこまで学習したか  
更には、フリートークをしながら、インタビュー側の質問に確認項目を織り交ぜ、学習者が理解できているかを見る。

#### ②学習者の適性判断

以下の項目を交えたフリートークをしながら、学習者のやる気、学習に対する姿勢を見る。

1. 何を学習したいか（苦手項目／希望項目）
2. どんな風に学習したいか（ex.会話中心／文法をしっかりと）
3. 何を学習したくないか

どの位、どのように学習してきて、どんな状態にあるか、どんな学習の方法、授業のあり方を望んでいるか、など学習者の日本語学習への取り組み方、性格を見る。

### Dクラス

#### ①ニーズ調査

学習歴や日本語が必要だと感じる場面など、一般的なことを自由に聞く。話すことだけでなく、読むこと、書くことなどについてもつつこんで聞く。

#### ②ロールプレイカード（依頼の表現）

依頼表現がどのくらいできるかを見る。上手な人には、「そんなこと言われても困るんだよねあ」と少しいじわるをする。

<p>ちゅうがっこう はたら あなたは中 学 校で働 いているAETです。</p> <p>らいしゅう かようび じゅぎょう ひ りょうしん にほん あそ 来 週の火 曜 日に授 業がありますが、その日に両 親が日 本に遊 び</p> <p>く なごや あんない おも に来るので、名古屋を案 内したいと思 っています。</p> <p>じゅぎょう やす おも あなたは授 業を休 みたいと思 っています。</p> <p>こうちょうせんせい ねが 校 長先 生に願 いしてください。</p>
---

③文法クイズ

中級に入る前までに勉強する文法項目をチェックする。半分以上はできて欲しい。  
(一部抜粋)

いちばん  
一 番いいものを1～4の中 <sup>なか</sup> からひとつ選 <sup>えら</sup> んでください

1. <sup>あめ</sup> 雨 が (            )、<sup>およ</sup> 泳 <sup>い</sup> ぎに行きます。

1. <sup>ふ</sup> 降っても    2. <sup>ふ</sup> 降ったら    3. <sup>ふ</sup> 降らないで    4. <sup>ふ</sup> 降らなくて

2. <sup>たなか</sup> 田 中さんに (            )、これを渡 <sup>わた</sup> してください。

1. <sup>あ</sup> 会えば    2. <sup>あ</sup> 会ったり    3. <sup>あ</sup> 会ったら    4. <sup>あ</sup> 会うと

3. <sup>にもつ</sup> 荷 物が多 <sup>おお</sup> すぎて、かばんに全 <sup>ぜんぶ</sup> 部 (            )。

1. <sup>はい</sup> 入 ります    2. <sup>はい</sup> 入 りません    3. <sup>い</sup> 入 れます    4. <sup>い</sup> 入 れません

4. <sup>たなか</sup> 田 中さんが傘 <sup>かさ</sup> を (            ) ました。

1. <sup>か</sup> 貸してくれ    2. <sup>か</sup> 貸していて    3. <sup>か</sup> 貸してもらい    4. <sup>か</sup> 貸させ

5. <sup>わ</sup> 分からないことがあると、いつも先 <sup>せんせい</sup> 生に (            )。

1. <sup>おし</sup> 教 えられます    2. <sup>おし</sup> 教 えてくれます    3. <sup>おし</sup> 教 えてもらいます

4. <sup>おし</sup> 教 えさせます

以上のインタビュー内容をもとにプレースメントテストを実施し、結果をクラス分けの  
目安にした。音声はCDに記録し実習生で共有した。

<河口>